

本研究会は、横浜市内の「ものづくり産業」の基盤である「金属加工」を対象として、技術課題の解決や加工の高付加価値化、技能継承の効率化、人脈づくりなどを図るという、実務に役立つ活動を展開することで企業の競争力を高めて頂くことを目的としています。

第3回

横浜・金属加工研究会

2012

「最新工具による難削材加工と特殊表面処理による金型等の寿命向上」

テーマ① WPC処理ならびにWPC・硬質薄膜複合処理の金属加工への適応

株式会社不二WPC 技術部長 熊谷 正夫 氏(工学博士)

トピックス

- ・WPC処理とは？
- ・金属加工(塑性加工)における複合処理の重要性
- ・WPC処理と硬質薄膜複合処理による金型寿命の延長
- ・WPC処理とDLC膜複合処理によるトライボ特性の向上

概要

WPC処理(微粒子衝突法)の原理と特長について解説し、WPC処理と硬質薄膜形成との複合処理について解説する。とくに、硬質薄膜のなかで近年利用が拡大しているDLC膜について、複合処理による摩擦特性や密着性の向上に関して示す。また、それらの適応として金型など塑性加工を中心とした金属加工への応用について事例を含めて紹介する

テーマ② 難削材における高付加価値加工の実現

サンドビック株式会社 コロマント事業部 営業本部
広島支店 支店長 羽垣内 勇 氏

トピックス

- ・難削材の高付加価値加工とは？
- ・最新の難削材加工用工具
- ・航空機部品加工の最適化
- ・チタン他の耐熱合金の高効率・高品質加工

概要

日本では、付加価値の高い部品加工が必要であり、航空機産業以外でも被削材の難削化が予想され、加工技術の最適化が必要とされています。言い換えれば、日本での”ものづくり”を支える為に、如何に効率良く、工具費を抑えながら高品質な加工を実現するかという事です。本講演では、航空機部品を例に世界レベルの最新加工トレンドや事例を交えながら、部品加工の最適化について紹介致します。

【日 時】：平成**24**年**9**月**28**日(金)
15:00~17:30

【会 場】：横浜企業経営支援財団 大会議室
横浜市中区太田町2-23 (横浜メディアビシネスセンター7F)

【参加費】：2,000円/1名(当日会場で申し受けます)

主催 (公財)横浜企業経営支援財団

★お問合せ先★

経営支援部技術支援課

TEL:045-225-3733

FAX:045-225-3738

<http://www.idec.or.jp>

★HPからも、お申し込みできます★

■ 第3回横浜・金属加工研究会 参加申込書 ■

氏名 (ふりがな)

所属・役職名

企業名

事業内容

所在地〒

TEL

FAX

E-Mail



横浜型地域貢献企業 (□にチェックをつけてください) ※認定企業は参加費が半額となります